

## イスラエルの将来における希望

ローマ人 1 1 章 28 & 29

January 29, 2012

そこで、わたしは問う、「神はその民を捨てたのであろうか。」断じてそうではない。わたしもイスラエル人であり、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の者である。神は、あらかじめ知っておられたその民を、捨てることはされなかった。聖書がエリヤについてなんと言っているか、あなたがたは知らないのか。すなわち、彼はイスラエルを神に訴えてこう言った。「主よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇をこぼち、そして、わたしひとりを取り残されたのに、彼らはわたしのいのちをも求めています」。しかし、彼に対する御告げはなんであったか、「バアルにひざをかがめなかった七千人を、わたしのために残しておいた。」それと同じように、今の時にも、恵みの選びによって残された者がいる。しかし、恵みによるのであれば、もはや行いによるのではない。そうでないと、恵みはもはや恵みでなくなるからである。(ローマ人 11:1-6)

### 残ったイスラエル人は、なおもキリストに信仰を寄せている。

「彼らがつまづいたのは、倒れるためであったのか。」断じてそうではない。かえって、彼らの罪過によって、救が異邦人に及び、それによってイスラエルを奮起させるためである。しかし、もし、彼らの罪過が世の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となったとすれば、まして彼らが全部救われたなら、どんなにかすばらしいことであろう。そこでわたしは、あなたがた異邦人に言う。わたし自身は異邦人の使徒なのであるから、わたしの務を光栄とし、どうにかしてわたしの骨肉を奮起させ、彼らの幾人かを救おうと願っている。もし彼らの捨てられたことが世の和解となったとすれば、彼らの受け入れられることは、死人の中から生き返ることではないか。(ローマ 11:11-15)

イスラエル人が救世主イエスを拒絶したことによって、異邦人の富となったのであれば、イスラエル人が、救世主イエスを受け入れるときに、世がどれほどの祝福を受けるということになるか想像してみましょう。

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが、突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために、激しく泣く。その日、エルサレムでの嘆きは、メギドの平地のハダデ・リモンのための嘆きのように大きいであろう。この地はあの氏族もこの氏族もひとり嘆く。ダビデの家の氏族はひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。ナタンの子の氏族はひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。レビの子の氏族はひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。シムイの子の氏族はひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。残りの全ての氏族はあの氏族もこの氏族もひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。(ゼカリヤ書 12:11-14)

もし、麦粉の初穂がきよければ、そのかたまりもきよい。もし根がきよければ、その枝もきよい。しかし、もしある枝が切り去られて、野生のオリブであるあなたがそれにつがれ、オリブの根の豊かな養分にあずかっているとすれば、あなたはその枝に対して誇ってはならない。たとえ誇るとしても、あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのである。すると、あなたは、「枝が切り去られたのは、わたしがつがれるため

であった」と言うであろう。まさに、そのとおりである。彼らは不信仰のゆえに切り去られ、あなたは信仰のゆえに立っているのである。高ぶった思いをいだかないで、むしろ恐れなさい。もし神が元木の枝を惜しまなかったとすれば、あなたを惜しむようなことはないであろう。神の慈愛と峻厳とを見よ。神の峻厳は倒れた者たちに向けられ、神の慈愛は、もしあなたがその慈愛にとどまっているなら、あなたに向けられる。そうでないと、あなたも切り取られるであろう。しかし彼らも、不信仰を続けなければ、つがれるであろう。神には彼らを再びつぐ力がある。なぜなら、もしあなたが自然のままの野生のオリブから切り取られ、自然の性質に反して良いオリブにつがれたとすれば、まして、これら自然のままの良い枝は、もっとたやすく、元のオリブにつがれないであろうか。(11:16-24)

### 台木の枝(ユダヤ人)はいつか自分の台木につがれるはずです。

兄弟たちよ。あなたがたが知者だと自負することのないために、この奥義を知らないでいてもらいたくない。一部のイスラエル人がかたくなになったのは、異邦人が全部救われるに至る時までのことであって、こうして、イスラエル人は、すべて救われるであろう。すなわち、次のように書いてある、「救う者がシオンからきて、ヤコブから不信心を追い払うであろう。そして、これが、彼らの罪を除き去る時に、彼らに対して立てるわたしの契約である」。福音について言えば、彼らは、あなたがたのゆえに、神の敵とされているが、選びについて言えば、父祖たちのゆえに、神に愛せられる者である。神の賜物と召しとは、変えられることがない。あなたがたが、かつては神に不従順であったが、今は彼らの不従順によってあわれみを受けたように、彼らも今は不従順になっているが、それは、あなたがたの受けたあわれみによって、彼ら自身も今あわれみを受けるためなのである。すなわち、神はすべての人をあわれむために、すべての人を不従順のなかに閉じ込めたのである。(11:25-32)

### “神の賜物と召しとは、変えられることがない。”

神はイスラエル人に約束され、神は約束を守られるのです。

多くの異邦人が来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主は自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。」それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。(ミカ書 4 : 2、イザヤ書 2 : 3)

ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがなく、その道は測りがたい。「だれが、主の心を知っていたか。だれが、主の計画にあずかったか。また、だれが、まず主に与えて、その報いを受けるであろうか」。万物は、神からいで、神によって成り、神に帰するのである。栄光がとこしえに神にあるように、アーメン。(11:33-36)

### 神の考えも道も、私たちに理解することは不可能なのです!

神のやり方が理解できない時、神のご性質にすがりついていることです。

神のやり方が理解できない時、神のご性質にすがりついていることです。

## 唯一の神

わたしより先に造られた神はなく、わたしより後にもない。 (イザヤ書 43:10b-11)

わたしの他に神があろうか？ほかに岩はない。わたしは知らない。 (イザヤ書 44:8b)

わたしが主である。ほかにはいない。わたしのほかに神はいない。 (イザヤ書 45:5a)

偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり。  
(テサロニケ人への手紙第一 1:9b)

主はまことの神、生ける神、とこしえの王。 (エレミヤ書 10:10a)

## 創造主の神

万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいつさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。 (コロサイ人への手紙 1:16-17)

いのちの泉はあなたにあり、私たちは、あなたの光りのうちに光りを見るからです。  
(詩篇 36 : 9)

## 不滅の神

世々の支配者、不朽にして見えざる唯一の神に、世々限りなく、ほまれと栄光とがあるように、アーメン。  
(テモテ第 1:17)

神はただひとり不死を保ち、近づきたい光の中に住み、人間の中でだれも見た者がなく、見ることもできない方である。誉れと永遠の支配とが、神にあるように、アーメン。  
(テモテ第一 6:16)

## 偉大な神

それにしても、神は、はたして地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをおいれすることはできません。まして私の建てたこの宮など、なおさらのことです。  
(列王記第一 8 : 27)

あなたは、神の深さを見抜くことが出来ようか。全能者の極限を見つけることができようか。それは天よりも高い。あなたに何が出来よう。それはよみよりも深い。あなたが何を知れよう。それを計れば、地よりも長く、海よりも広い。見よ。これらはただ神の道の外側に過ぎない。わたしたちはただ神についてのささやきしか聞いていない。だが、その力ある雷をきき分けようか。  
(ヨブ記 11:7-9,26:14)

## 英知の神

ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい。  
(ローマ 11 : 33)

主は大いなる方。大いに賛美されるべき方。その偉大さを測り知ることが出来ません。  
(詩篇 145 : 3)

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたの方の道と異なるからだ。一主の御告げ一 天が地よりも高いようにわたしの道は、あなたの方の道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」  
(イザヤ 55 : 8-9)

## 忠実な神

神は人間ではなく、偽りを言うことがない。人の子ではなく、悔いることがない。神は言われたことをなさないだろうか。約束されたことを成し遂げられないだろうか。  
(民数記 23 : 19)

あなたがたを召されて方は真実ですから、きっとそのことをして下さいます。  
(テサロニケ第一 5 : 24)

神は真実であり、その方のお召しによって、あなた方は神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わり入れられました。  
(コリント人第一 1 : 9)

## 変わらぬ神

主であるわたしは、変ることがない。  
(マラキ書 3 : 6a)

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光りを造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。  
(ヤコブ 1:17)

イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。  
(ヘブル 13:8)

## 神の臨在

「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神はわたしたちとともにおられる、という意味である。）

（マタイの福音書 1:23）

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともにしょくじをする。」

（ヨハネの黙示録 3:20）

イエスは彼に答えて言われた、「もしだれでもわたしを愛するならば、わたしの言葉を守るであろう。そして、わたしの父はその人を愛し、また、わたしたちはその人のところに行き、その人と一緒に住むであろう。」

（ヨハネ 14:23）

ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。」

（マタイ 18:20）

私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。たとい私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。私が暁の翼をかけて、海の果てに住んでも、そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕らえます。

（詩篇 139:7-10）

## 全能の神

主はアブラハムに現われ、こう仰せられた。「わたしは全能の神である。あなたは私の前を歩み、全き者であれ。」

（創世記 17:1b）

イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。」

（マタイ 19:26）

私は大群集の声、大水の音、激しい雷鳴のような者が、こういうものを聞いた。「ハレルヤ。万物の支配者である、われらの神である主は主は王となられた。」

（ヨハネの黙示録 19:6）

われらの主は偉大であり、力に富、その英知は測りがたい。

（詩篇 147:5）

## 全知の神

なぜなら、たといわたしたちの心に責められるようなことがあっても、神はわたしたちの心よりも大いなるかたであって、すべてをご存じだからである。

（ヨハネ第一 3:20）

造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には全てが裸であり、さらけ出されています。私たちは、この神に弁明をするのです。

（ヘブル 4:13）

言葉が私の舌にのぼる前に、なんと主よ、あなたはそれをことごとく知っておられます。

（詩篇 139:4）

しかしイエスご自身は、彼らに自分をお任せにならなかった。それは、すべての人を知っておられ、また人についてあかしする者を、必要とされなかったからである。それは、ご自身人の心の中にあることを知っておられたからである。

（ヨハネ 2:24~25）

## 王なる神

すなわち、唯一の知恵深き神に、イエス・キリストにより、栄光が永遠より永遠にあるように、アーメン。

（ローマ人 16:27）

すなわち、わたしたちの救主なる唯一の神に、栄光、大能、力、権威が、わたしたちの主イエス・キリストによって、世々の初めにも、今も、また、世々限りなく、あるように、アーメン。

（ヤコブ 1:25）

## 聖なる神

われらの神、主をあがめよ。その聖なる山に向かって、ひれ伏せ。われらの神、主は聖である。

（詩篇 99:9）

主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましようか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります。」

（ヨハネの黙示録 15:4a）

わたしはあなたがたの神、主であるからだ。あなたがたは自分の身を聖別し、聖なる者となりなさい。わたしが聖であるから。

（レビ記 11:44a）

互いに呼び交わして言っていた。「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光はぜんちに満ち。」

（イザヤ 6:3）

## 君主の神

主は、望むところをことごとく行われる。天で、地で、海で、また全ての淵で。

（詩篇 135:6）

万軍の主は誓って仰せられた。「必ず、わたしの考えたとおりに事は成り、わたしの計ったとおりに成就する。」

（イザヤ書 14:24）

## 義の神

今、主への恐れがあなたがたにあるように。忠実に行いなさい。私たちの神、主には、不正も、えこひいきも、わいろをとることもないからです。」（歴代誌第二 19：7）

あなたは誠実をもっておこなわれたのに、わたしたちは悪を行ったのです。  
（ネヘミヤ記 9：33）

主よ。あなたはただしくあられます。あなたのさばきはまっすぐです。  
（詩篇 119：137）

なぜなら、神には、かたより見ることがないからである。（ローマ人 2：11）

## 愛の神

神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。（ヨハネ 3：16）

まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。（ローマ人 5：8）

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。（ヨハネ第一 4：10）

## 慈悲深い神

主は仰せられた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見、追い使う者の前の彼ら叫びを聞いた。わたしは彼らの痛みを知っている。（出エジプト 3：7）

この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われたのである。だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。

（ヘブル：4：15～16）

## 恵み深い神

主は彼の前を通り過ぎる時、宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、  
（出エジプト 34：6）

わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。（エペソ人 1：7）

というのは、すべての人を救う神の恵みが現われ、、、（テトス 2：11）

## 真実の神

実に、イスラエルの栄光である方は、偽ることもなく、悔いることもない。この方は、人間ではないので、悔いることがない。」（サムエル記第一 16：29）

【イエスの父への祈り】真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。（ヨハネ 17：17）

## 忍耐深い神

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず全ての人が悔い改め進むことを望んでおられるのです。

（ペテロ第二 3：9）

【神が言われた】わたしは、わたしの名のために、怒りを遅らせ、わたしの栄誉のために、これを押さえて、あなたを断ち滅ぼさなかった。（イザヤ 48：9）

しかし主よ。あなたは、あわれみ深く、情け深い神。怒るのにおそく、恵みとまことに富んでおられます。（詩篇 86：15）

それとも、神の慈愛があなたを悔改めに導くことも知らないで、その慈愛と忍耐と寛容との富を軽んじるのか。（ローマ人 2：4）